

Question & Answer

「お便り編」

ドキドキワクワクの
ウキウキ時空間

「Mitoさんと山田ともこのお手紙ごっこ」

ともさん

お手紙、ありがとうございます。読んで楽しくなつて、ついニヤニヤしてしまいます。どうして楽しいのか、考えてみました。それは、自分と相手の過去の文化遺産や、外からたまたま与えられた同書などを「見比べるあつちの視線」などと違う、その人そのもののへの関心とそれなりの信頼関係から、この「お手紙ごっこ」が成り立っているからではないでしょうか。こぶと小父さんやまみさんの手紙もそうだと思います。ぼくは、その心地好さ、交流分析という手法にでてくる「いまここ」(のわたしとあなたに)に関心をもつ」という言葉で表わされていると思います。

いきなり理屈っぽくなつてしまいました。が、じつは何を隠そう、ぼくは小さいときから親に「理屈屋ばかり」といわ

れ、今でも「理屈屋(言う)ユウダレ」と断言されている人間なのです。でも、社会教育や生涯学習のすてきなところを発信するといういまの仕事は、かなり入ってしまつて、そこでは、とくに「ひとが上下に比べられる学歴偏重社会」を脱却したあとの「してあげる」してもよい交換が気持ちよく行き交う生涯学習社会」のつくり方がぼくにとっての最大重要関心事なのです。だって、誰だって、「比べられるために生まれてきた」なんていう人はいないと思うのです。また、ぼくが書かせてもらった(出版社に赤字覚悟で出してもらった)本「こころ生涯学習」の副題も「いばりたい人はいません」なのです。だから、このへんの水平な人間交流の語にこそ、つりかが入つてほしいのです。

そして、このことは、たしかに「Mitoさんちゃん問題」にも通じているのです。ともさんからは、「mitoちゃん」と呼ばれることは、開かれた社会教育を目指すmitoちゃんの結果そのものではないでしょうか。などと過大評価をいただきました。ありがとう。まあ、ぼく自身の「mitoちゃん」という呼び名の理由は、正直なところ、語呂がいいからとか、かわいく聞こえるからとか、いかにとかの程度です。でも、ぼくには、「わたしの支配を受けないあなただけ、そういうあなたが生きてくれている」という思いが込められている。この「野望」(ぼくはこころのために生きていくのかもしない……)があります。この野望を率直に反映した直感的な言葉

(ほかではぼくは理屈っぽい)が、「ぼくは先生なんかじゃない、mitoちゃんにすぎないんだ」ということなのかもしません。

ところで、「恋愛に発展することへの危機回避のため(結婚後の)異性交遊を避ける」という友人の言葉、ぼくもすこいななと思います。ただし、ぼくは「すこい」は、ぼくもかなりの臆病者なので、「あたっているなあ」「自分の核心をそんなはずしと平気でいえる友人関係というなあ」という意味での「すこい」なのです。でも、結婚による相互抑圧作用の見返りに安心を求めるよりは、ほかの異性ととの交遊に心ときめかせながらも、「やっぱりいまの連れ合いが世界一だ」となるほうがよっぽどいいでしょうね。リスクを臆病に回避しているくせに、こんなとんでもない夢を見ていくという状態、ぼく自身は「よくでなし状態」と呼んでいます。しかし、「どうせ人間はみんなくでなしなんだ」だから、ただのくでなし。から、まじしくくでなし。になれば、それで十分なんだ」と思直ることにしています。いづれにせよ、ともさんのいう「ミトのドキドキワクワクのウキウキ時空間」や「ぼくが臆病者の僕にとっても「生きていく理由」なんですよ。ぼくは生涯学習は「生きていく理由」から発するものだと思つてますから、「ワンダーランドでなければ生涯学習じゃない」なんて叫んでいます。大学の授業でも、初回には必ず「なんで生きてるの?」という発問から始めることにしています。「生まれただけ」という当然すぎる答えが「一番多いのですが、「死ぬのが怖いから」というのもけつこ多いんですよ。これってぼくは「そうだなあ」と共感しちゃうところもあるのですが、「恋愛に発展することへの危機回避のため」というのも通じていますよね。やっぱりぼくはワンダーランドの世界で生きていきたいな。

おっと、いつものごとくスキソかつ元長になつてしまつた。それでは、スキソについてどうしたら社会教育や生涯学習がワンダーランドになるかということだけ、ぼくが最近考えていることを手短かに紹介しておきますね。

1つめは、「発達だけでなく癒しも」です。人間、日々発達しているのを実感するのもしつたことですが、実際には、それだけじゃなく「癒された」、安らぎたい」という欲望もあるのが自然だと思ひます。前者だけを声高に相手に押しつけるのって「ワンダナ」と思つたのです。

2つめは、「事実よりも真実を」です。学習というのが、つまらない事実の集積に圧迫されることであるようなマイナスイメージが、小学校以来、ぼくたちにあるので、これがワンダーランドとしての生涯学習への接近を妨げています。ほんとうのところは、事実なんかはおもしろくない。ぼくたちは、事実のインプットのためではなく、真実に少しでもふれてワクワクするためにこそ、出会い、生きていくのだ。事実は、その集積が真実に近づいてくだけおもしろいのだ。このように思うのです。だって、ともさんだって、ご自分の歌詞を「事実と違うわね」といわれたって「当たり前でしょ」と思っただけでしょうけど、もし、「真実とは無縁ね」などという失礼なやつがい

たら、「どうしてよ」となりますよね。歌詞も、人間存在の真実に接近するらしい虚構のひとつなのだと思います。

3つめは、「積極的積極性」とともに積極的消極性を「です」。「誰からでも何からでも学びたい」という積極的な生き方をするのを見てみると、じつは、撤退せざるを得ないような場面の多いこの世の中で、積極性発露の一方で、他者のせいにすることなく、さわやかな撤退をどこかでしようずしている。ばくはこのような自己決定・自己管理型の「深い撤退」を「積極的消極性」と呼んでいます。生涯学習や人間交流のような「積極的積極性」の行為は、この「積極的消極性」と運動関係にあると思うのです。この2つに対して、「積極的積極性」(やりにくくないけど頑張っている)、「消極的積極性」(被害を受けているからできないでいる)の2つが、ワンダーランド発見のネットワークになっていると思います(じつはばく自身のことですが)。

遅ればせながらの自己紹介のようになってしまいました。
ps. ともしさんの作品を紹介ください(作品は「過去の文化遺産」にあるけど、「いまここ」のともさんに関心があるからこのお願いです)。

mito



nitchuan in wonderland

またまたノケられてしまいました。アイナ、アイナ。とりあえずお返しする次第。トホホ……

今回のお手紙、ドキンとさせられることとがいろいろあって、ちょっとだけ深く考え込んでしまったりしてあります。「なんでも生きているの?」まずここでドキン。で、このQに対して咄嗟にAを見出だせずにドキンとしてしまった自分に気がついてドキン。あれ、これって今までさんさん考えたらとじやなかったっけ。ある時はルンルンと、又ある時はフンフンと、それなりに自分なりに答えを出していたつもりだったのに……そう言えば長いことこんなこと考えていなかっただけねえ。流されていただけなのかしら。それとも年のせい? アッいけない、いけない。ここへ逃げ込んだら逃げ込んでしまおう。そうよ、ウキウキワクワクでなくちゃあ。

と、まあ最初のドキンから脱出し、気を取り直して読み進みます。後半、ワンダーランドへの道しるべというところで、読むのにもクツとリキが入ってしまいました。

「発達だけでなく癒しも」なんて読むと、そうよ、そうよ、癒されたいのよ。嬉しいこと言ってくれるわねえ。と、それだけです。かり癒された気分になってしまえる私って、きつともワンダーランドの住人なのね。(オメデタイだけかもしれないけれど)

気持ち良く読みすすんでいると「積極的消極性」なんて言葉に出くわしました。ガーン。

コレハワシノコトデハナイカシラン。

以前こぶとり小父さんのお手紙で、「与えられたどのような状況の中でも常にオメデクノーテンキに生きてゆきたい」ということを書いたことがあるのです。でもこれって状況打破を諦めた態度ではないかしら。いけないことではないかしら。誰か昔はこんなじやなかったはずよ。もっと燃えるような想いが……でもやだってちよびつと位は……それにしても……年のせい? アッいけない、いけない。

と、ここでも又きつとだけ深く考え込んでしまったのです。

で、いつもの私のクセで、きつと友人達もドキンとするに違いないわと思いい立ち、早速ダイヤルをひ、ポ、ポ、ポ。「もしもし」と聞こえるや、いきなり「ね、ね、何で生きているの?」

「オ? まあ自分自身の修行のためってとこかな。アッハッハッ」

あまりにも即、あつからんと答えられて、ポカンとしてしまいました。(彼女は特に信仰を持っている訳ではありません)

ま、ああなりたい、こうなりたいと思いがたにも思う程には発達せず、時に癒されたい。真実がふたたくて、ある時は積極的、又ある時は消極的に生きて、人生それぞれに修行であったり、ワンダーランドであったり、ノーテンキであったり……ウーン、やっぱりノーテンキはまじいんじゃないかな……よく考えてみることにします。

「ありがと」

なぜ 生まれてきたの?

笑うため?

喜ぶため?

愛するため?

神様に ありがとを いうために

これは、かくありたい、あって欲しいという願望です。

mitoちゃん、楽しいお手紙だったことがあったら?

いつかきつと連絡生

とも

